

高校生とネット・スマホの今

取材・文／藤崎雅子

新しいデジタル機器やWEBサービスの登場により、高校生の生活は確実に変化しています。リクルート進学総研が実施した高校生のWEB利用調査の結果と、本誌が直接取材した高校生の生声から、デジタル・ネイティブといわれる現代高校生の新しいコミュニケーションの様子をのぞいてみましょう。

調査概要：【調査期間】2013年6月28日～7月1日／【調査方法】インターネット調査／【調査対象】全国の高校生／【集計対象数】800人

01. パソコンやスマホ、いつ使っている？

図1 パソコン、携帯電話・スマートフォンの利用時間帯（各所有者／各複数回答）

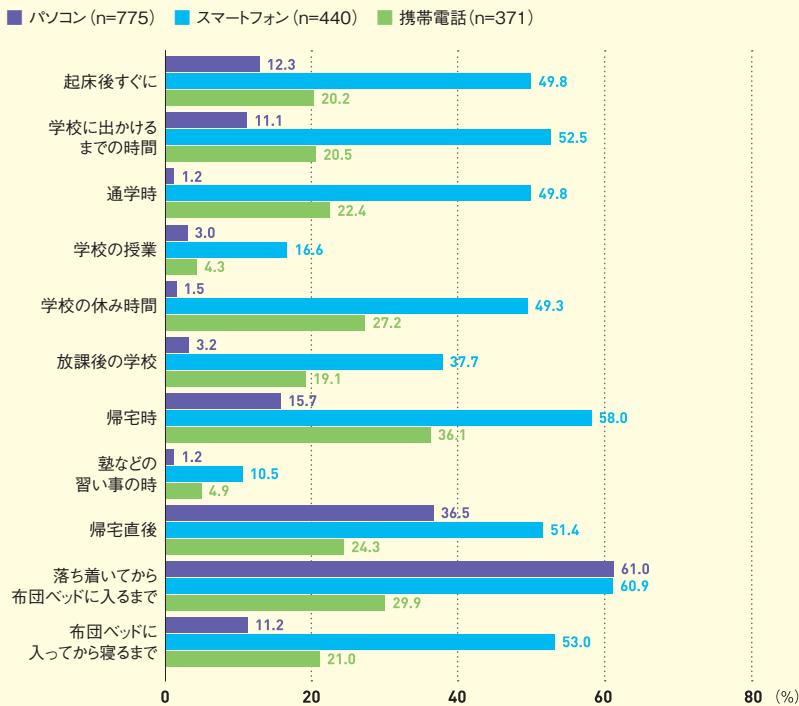


図2 高校でのスマホや携帯電話の利用規制（単一回答）

高校に持って行くことは禁止されている	15.5%
高校に持って来て良いが、校内で利用することは禁止されている	31.4%
高校に持って来て良いが、休憩中のみ利用が許可されている（授業中は禁止）	33.8%
特に規制や制限はない	18.9%
その他	0.5%

リュウ



調査結果と同じような感じで、朝起きてから夜寝るまで1日4～5時間はスマホを触っています。便利で楽しいけど高3になったらさすがにもっと勉強しないか…。

関東の公立高校1年。プラスバンド部。デジタルものにも強い

ユウキ



関東の公立高校1年。プロ野球ファンで、お気に入りチームがある

学校では授業中以外はスマホ利用OK。休み時間にスマホでゲームをすることも。一日中使用することもあるけど、無駄に時間を使ったなど後悔したことはないです。

ハルカ



高校生になってLINE仲間が一気に増加。勉強して30分もたたないうちにLINEをチェックしちゃいます。それで、1学期の中間テストが大変だったので、部屋にはスマホを持ち込まないことをお母さんと約束しました。

関東の私立高校1年。ソフトテニス部。勉強が厳しめの学校なので、苦手な数学で少々苦労

チアキ



東北の私立高校2年。1年間の留学経験あり。将来の目標は宇宙関係の仕事

iPhoneには朝起こしてもらったり、大事なことをメモ帳で覚えてもらったり、ここからじゃないと友達とつながれなかったり…もはや自分の体の一部。無いと生活できません。朝、遅れた時も、通学バスの位置をLINEですぐ友達に聞けるので、すごく助かっています。

スマホ所有者率は55%
起きてから寝るまで1日中使用

2013年調査の結果によると、「高校生のデジタル機器の所有者率」は、「ノート型パソコン」が76%、「デスクトップ型パソコン」が53%、「タブレット型パソコン」が16%、「スマートフォン（スマホ）」が55%、「携帯電話」が46%となっている（※）。過去の調査と比べて大きく変動したのはスマホ所有者率。2年間で3.7倍に増加している。

それぞれのデジタル機器の「利用時間帯」は、機器によって異なる傾向がみられる（図1）。パソコンは学校から帰宅後に利用が集中するのに対して、スマホと携帯電話は「起床後すぐに」から「布団ベッドに入ってから寝るまで」に至りまんまんなく利用されている。また、利用率に注目すると、いずれの時間帯でもスマホの利用率が携帯電話の利用率を大きく上回っており、スマホの利用率の高さが目を引く。

一日中まんまんなく利用率が高いスマホだが、一日あたりの利用時間はどれぐらいだろうか。「スマホのインターネット利用時間」の調査結果を見ると、「2時間以上4時間未満」が13%、「4時間以上」が12%。スマホ所有者の4分の1が1日2時間以上利用している。

本誌ではスマホをもつ高校生4人に、スマホ利用の実態を直接インタビュー（図表横コメント）。彼らは1日3時間以上スマホを使うヘビーユーザーで、スマホの便利さを享受している半面、勉強時間が削られて

02.スマホで何をしている？

図4 アプリのダウンロード数
(スマートフォン所有者かつアプリ利用者)

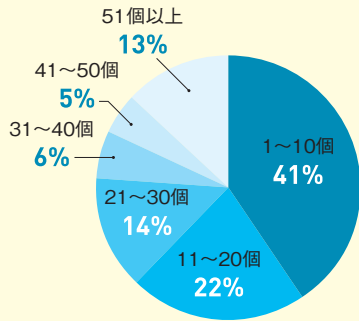
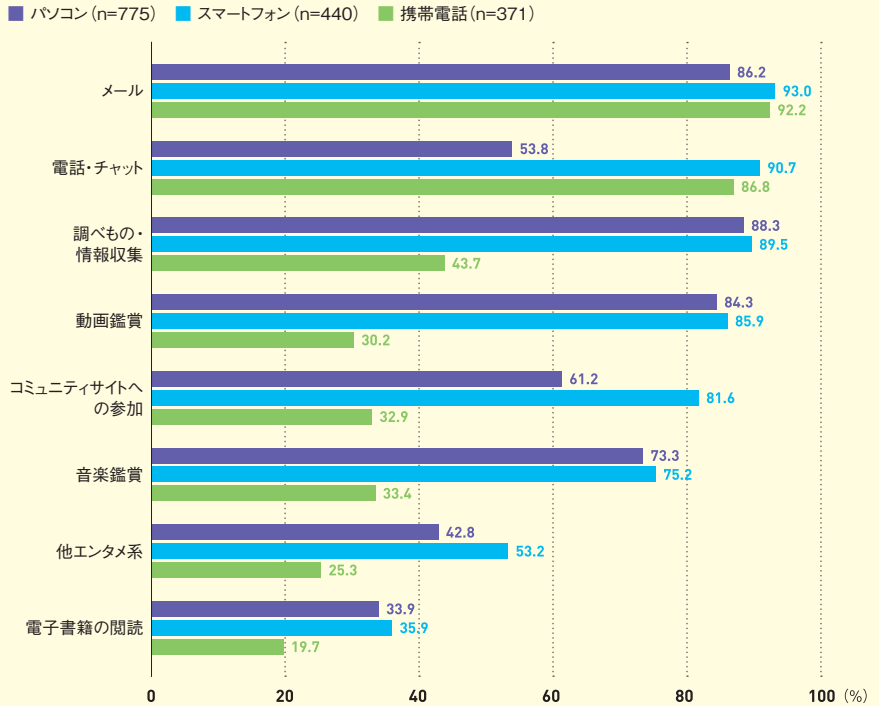


図5 高校生が利用しているアプリの例
(フリーコメントより)

SNS系	LINE, twitter, Facebook, 2chまとめ (BB2C, MT2)
ゲーム系	モバゲー、パズドラ、なめこ、アルパカにいさん、ウインドランナー、クイズキングダム
クーポン系	マクドナルド、ローソン
写真・画像	無音カメラ、プリ画像
便利ツール	乗換案内、こづかいゲットン、サクサクコイン、クックパッド、世界史(日本史)一問一答、快眠サイクル時計、ドルフィンブラウザ

図3 各デジタル機器の利用内容 (各所有者の「利用・計」の割合/各単一回答)




リュウ

ダウンロードしたアプリは約60個。ネットの記事とかを読んで、いいなと思ったら入れる感じですね。システム手帳アプリ「ジョルテ」には部活や塾の予定を入れ、すぐ確認できるようにしています。勉強関係では、国語辞典や英和辞典をけっこう使います。



ユウキ

今、メールは全然使わないですね。マクドナルドやカラオケ店から届くぐらいで、友達とのやりとりはLINEです。ゲームをけっこうやりますが、課金されるのはやりたくない。最初無料で後から課金に切り替わるゲームにも、絶対引っかからないようにと思っています。



ハルカ

電車通学なので「乗換案内」アプリはすごく重宝！遊びに行った時には、写真アプリをよく使います。以前、テスト期間中にパノラマ写真を撮るのがはやって、学校で自習している時に1日100枚ぐらい撮ったことも。



チアキ

入れているアプリ数は100以上。「かみあぶ」というアプリを入れているので、おすすめアプリやセール情報をみえています。「星座表」や「kibo360°」など宇宙関連のアプリ、勉強アプリも多いですよ。データ管理するのが好きで、「MyStats」に勉強時間や体重などを記録してグラフ化しています。



平均アプリ数は27個
勉強や時間管理への活用も

では、高校生はスマホで具体的に何をしているのだろうか。【各デジタル機器の利用内容】の調査結果から、スマホは「メール」(93%)や「電話・チャット」(91%)だけでなく、「調べもの・情報収集」(90%)、「動画鑑賞」(86%)、「コミュニティサイトへの参加」(82%)と幅広く利用されていることがわかる(図3)。これは、メールと電話に集中する携帯電話とは異なる傾向で、パソコンの利用状況によく似ている。スマホはいわば手の中のパソコンといえそうだ。

スマホの幅広い利用を支えているのは豊富なアプリだが、「スマホのアプリ利用率」は65%にとどまる。また、そのアプリ利用者の【アプリのダウンロード数】は平均27個(図4)。(ポリュームゾーンは「1~10個」(41%)と控えめだが、「51個以上」(13%)も1割を

いるという声もあがった。

また、【高校でのスマホや携帯電話の利用規制】をみると、約8割の高校では何らかの規制を行っている(図2)。最も多いのが「高校に持ってきて良いが、休憩中のみ利用が許可されている(授業中は禁止)」(34%)で、次が「高校に持ってきて良いが、校内で利用することは禁止されている」(31%)だ。ただし、実際の高校生の話によると、校内での使用が禁止されていても休み時間の使用は黙認されているケースも聞かれた。

03.SNSサイトの利用状況は？

図6 SNSサイトを現在利用している割合 (各単一回答) ※「LINE」は2013年より提示

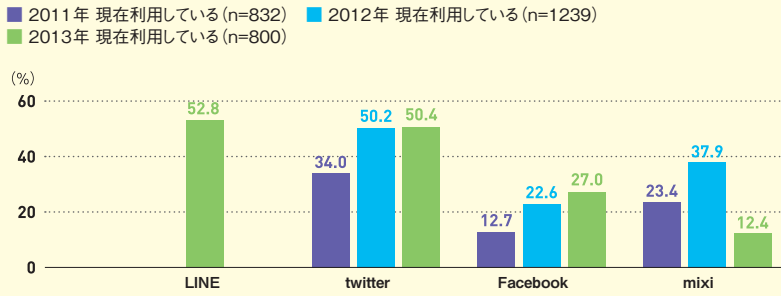


図7 SNSサイトの利用目的(各SNSサイト利用者/複数回答)

	LINE	twitter	Facebook	mixi
第1位	友人・知人とのコミュニケーションツールとして (69.0%)	暇つぶしとして (51.6%)	暇つぶしとして (37.5%)	暇つぶしとして (41.4%)
第2位	暇つぶしとして (31.3%)	最新情報の入手先として (50.6%)	友人・知人とのコミュニケーションツールとして (32.9%)	最新情報の入手先として (26.3%)
第3位	最新情報の入手先として (16.8%)	友人・知人とのコミュニケーションツールとして (42.9%)	最新情報の入手先として (28.7%)	友人・知人とのコミュニケーションツールとして (24.2%)
第4位	懐かしい友人・知人と再会を求めて (10.0%)	芸能人・著名人の動向チェックとして (30.0%)	懐かしい友人・知人と再会を求めて (15.3%)	懐かしい友人・知人と再会を求めて (11.1%)

図8 SNSサイトの交流人数と、うち面識のある知り合いの人数・割合(各SNSサイト利用者)

	LINE(友達)	twitter	Facebook(友達)	mixi(マイミク)
交流している人の平均人数	59.2人	(フォローしている)214.5人 (フォローされている)189.7人	50.8人	43.6人
うち、実際に面識のある知り合い	人数	43.6人	(フォローしている)25.3人 (フォローされている)25.3人	34.0人
	割合	73.6%	(フォローしている)11.8% (フォローされている)13.3%	66.9%

ユウキ



LINEの友達数は420人。プロ野球チームの同好会に招待されて入ったら、どんどん見知らぬ「友達」が増えちゃって…面倒になって整理しました。良い面もあって、ぼくは人見知りなんですけど、高校に入った時はLINEで知ったその人の趣味をネタに学校で話せたので助かりました。入学前にtwitter上で知り合った同級生もいますよ。

ハルカ



LINEにクラス全員のグループがあって、実験結果やテスト範囲を共有したり、文化祭の出し物について意見交換して夜のうちに決まっちゃったり。LINE上でけんかになって、怒った人がグループを壊すとかは、よくある話。うちのクラスでもありました。



チアキ



私の場合、LINEは近くの友達、Facebookは留学中にできた友達とのやりとりが主です。友達の中にはLINEやtwitter上に出会いを求める子も。実際、LINEで知り合った人と付き合っている友達もいます。

超え、利用状況に幅がある(図4)。

具体的な「利用しているアプリ」の記述をみる。LINE「twitter」などSNSサイトと、「モバゲー」「パズドラ」「なめこ」などゲームのアプリの多さが際立つ。数は少ないものの、「世界史問答」「辞書」など勉強のためのアプリもあがっている。

本誌が取材した100以上のアプリをもつ高校生は、英単語暗記のための「ユメタン」「ボキャキン」や、元素が写真付きで解説されている「元素図鑑」などの学習アプリも多数インストール。このほか「勉強専用タイマー」を使って過去問の解答時間短縮に挑んだり、「MyStats」を使って勉強時間やテストの点数をグラフ化するなど、自己管理にも活用していた。

リアルな友達とのLINE、広く情報収集するtwitter

人気アプリの代表であるSNSについて、詳しいデータをあたってみよう。「SNSサイトを利用している割合」によると、高校生が最も利用しているSNSサイトは前回調査対象外だった「LINE」(53%)だ(図6)。2位は「twitter」(50%)、3位には「facebook」(27%)が続く。前回2位だった「mixi」(12%)は大きく減少しており、変化の大きさがうかがえる。

男女別では「LINE」(男子50%・女子55%)「twitter」(男子46%・女子55%)は女子の利用率が高く、「facebook」(男子29%・女子26%)は男子の利用率が高い。高

校所在エリア別での差もみられ、「LINE」の利用は東北(59%)で高く、九州・沖縄(32%)、北関東・甲信越(35%)で低めだ。

「SNSサイトの利用目的」と「SNSサイトの交流人数」は、SNSサイトごとに異なる傾向にある(図7、8)。利用上位2つのSNSサイトに注目してみると、まず、「LINE」の利用目的は「友人・知人とのコミュニケーションツールとして」(69%)が突出。「友達」の平均人数は59人で、その7割以上が知り合いだ。

そして、「twitter」の利用目的は「暇つぶし」として(52%)、「最新情報の入手先として」(51%)が半数を超える。「芸能人著名人の動向チェックとして」(30%)が3割と多い点も特徴的だ。フォローしている平均人数は215人、フォローされている平均人数は190人。そのうち知り合いの割合はそれぞれ1割強にとどまっている。

こうしたデータから、「LINE」でリアルな友達との会話を楽しみ、「twitter」で暇つぶしに広く情報収集するといった、高校生の典型的な利用スタイルが浮かび上がる。本誌が取材した高校生の話からは、「LINE」のグループ外しなどネット上での小さなトラブルは珍しくなく、SNSサイトで手軽に見知らぬ人と知り合える危うさも感じられる。しかしながら、「LINE」で学校生活に必要な情報のやりとりや話し合いが進むなど、SNSサイトはすっかり高校生活に定着。教室の中ではみえにくい、このような状況を知っていると、彼らとの付き合い方も変わってきそつた。